

### 市民生活の向上めざし 活発に議論

#### 総務経済委員会

●総務経済委員会では、9月4日、7日の両日、当委員会に付託された議案4件について、慎重な審査を行いました。

特に、議案第75号の令和元年度決算審査においては、市役所本庁舎のメンテナンス、入間川治水工事の今後について、プレミアム付商品券事業の効果検証、インキュベーションセンターの活用方針、防犯カメラ設置の検討など、さまざまな意見や要望があり、当委員会の「要望指摘事項」として、3つに精査し、市長へ提出しました。

今後はこの3点の進捗について注視してまいります。



大規模水害に備え強靱化を(奥富堰)



市の顔である庁舎に適切なメンテナンスを

#### 【所管事務調査】

9月7日には、狭山市駅西口駐車場の指定管理者からの納付金未納の再発防止について「所管事務調査を行い、担当の交通防犯課より経緯と現状、再発防止などの説明のあと、質疑応答を行いました。質疑応答では、再発防止に対する市民感情の代弁や執行部の考えを質すなど、活発な議論がなされ、多くの意見が出されました。

最後に委員会として、執行部へ再発防止のための「提言」を行い、所管事務調査のまとめとしました。

### 新型コロナウイルス感染症への 対応状況を調査

#### 文教厚生委員会

●【所管事務調査】安全安心のため各所で工夫を凝らした配慮

文教厚生委員会では、9月11日に本委員会の所管する福祉、教育分野における新型コロナウイルス感染症への対応状況について所管事務調査を行いました。

保健所や医師会との連携の下、新型コロナウイルス感染症の感染防止の取り組みをはじめ、3月から5月まで臨時休校の措置をとった小中学校、また、保育所の臨時休園や公民館、図書館、博物館の休館など市民の身近に関わる分野、市民生活



【中央図書館の取り組み例】導線の工夫による密接の回避

に大きく関わる分野における経過報告となりました。コロナ禍において困窮する市民生活に対する相談・支援の状況や、小中学校の再開後における取り組み、公共施設の休館期間中も、さまざまな取り組みが工夫して行われていたことなどの報告があり、委員からは、こうした取り組みを教訓として、今後の市民サービスの提供に活かしてほしいなどの意見が出されました。



【図書館の取り組み例】司書が選んだ本を5冊ずつ袋に詰めた「お楽しみパック」。短時間で貸し出しができ、子どもたちにとって新たな本に出会える機会となるよう企画したもの。6月まで実施した。(小学校低学年・中学年・高学年、中学生向けの4種類)

### 安全安心なまちづくりを推進

#### 建設環境委員会

●建設環境委員会では、市道路線の廃止・認定にあたっては、適正な雨水処理の確認や周辺環境を調査するとともに、現地の開発が適切に行われていることを、視察により実地検証し精査したのち、認定を行っています。

今期定例会において、開発に伴う3箇所について、市道路線の廃止と認定を行いました。

①堀兼の農村環境改善センターに隣接する、さといも共同選果場の開発に伴い、旧農道、市道C第1134号線を廃止し、農村環境改善センター横の拡幅された市道C第601号線に付け替えました。また、市道C第1134号線の開発区域内にあった部分の廃止に伴い、選果場東の農道側を起点とし不老川を終点とする路線を市道C第1197号線として認定しました。



現地での執行部説明

②狭山市大字根岸地内の県道堀兼根岸線に接する、子供服配送センターの開発に伴い、旧農道市道F第1015号線の廃止と、新しく県道堀兼根岸線から市道F第2号線までの路線、市道F第1250号線を認定しました。



雨の中熱心に質問をしました



現地視察のようす

③工業団地開発に伴う、上広瀬西久保地区土地区画整理事業区域内の旧農道19路線の廃止と、国道407号線から県道堀兼根岸線に接続する開発地域を周回する路線及び開発により分断された路線について、新たに起点と終点を付け市道F第1251から1257号線の各路線を認定しました。

### 環境に即応した 議会運営をめざして

#### 議会運営委員会

●狭山市議会が目指す姿は、「市民の皆さまに信頼される議会」です。議会運営委員会の活動も2年目になりました。「市民にわかりやすい議会」、「自然災害などが発生しても機能する議会」、「コロナ禍に対応できる議会」などを年間計画に位置付けて取り組んできましたが、委員会任期(2年間)も残り6カ月となりました。最後まで途切れることなく計画目標の達成を目指してまいります。

現在取り組んでいる具体的な活動内容は以下の通りです。

1 わかりやすい一般質問を目指して、議事進行の活用、反問権についての研究と協議、議場内のモニターの活用の見直しなどに取り組めます。

2 コロナ禍における適正で円滑な議会運営を行います。

・任期満了による常任委員の改選のあり方、そのことに付随する会議のあり方について検討し、新たな体制をつくりまします。

・オンライン会議が実施できる環境整備、本会議等の長期的な感染防止、非常時の情報共有体制の構築と訓練などを行います。



狭山市議会



7月に実施した文教厚生委員会でのオンライン会議の練習会のようす